

'18.1

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 志智宣夫
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号
☎078(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 足立 誠
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含んでおります

第725号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成29年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲国生みの大業を果たした伊弉諾尊（いざなぎのみこと）が余生を過ごしたとされる故地に創始されたことで有名な伊弉諾神宮にある狛犬〔提供：淡路市・伊弉諾神宮〕

Contents

- 年頭挨拶 2~3頁
- 県連合会Letter 4~6頁
 - ・県要望提出
 - ・経営分析力向上研修
 - ・第57回商工会全国大会
 - ・事業委員会
 - ・第19回商工会青年部全国大会
 - ・近畿ブロック商工会青年部交流会及びリーダー研修会
 - ・ニッポン全国物産展
- 第12回多可町ふるさと産業展
労働局からのお知らせ 7頁
- クラウドファンディングを活用した商品開発
商工会ネットワークを活用した輸出事業 8頁

謹賀新年

監	坂	森	平	浄	中	大	楠	北	藤	安	大	理	専務	副	会
徳廣	本	本	松	村	崎	田	村	井	井	智	智	足	立	事	志
網田	政	政	ひ	長	耕	基	一	正	信	靖	事	立	事	長	長
進文	み	み	義	章	造	曉	弘	利	和	孝	弘	誠	誠	司	夫
谷	中	砂	圓	猪	三	高	秋	小	富	松				大	森
本	西	尾	増	坂	渡	井	山	寺	田	原				地	方
	孝	亮	悦	圭	國	紀	博	孝	正					義	
学	之	治	介	司	介	昭	史	史	昭	武				但	則

更なる飛躍に向かって

兵庫県商工会連合会 会長 志智宣夫



新年明けましておめでとうございます。

平素は、当連合会の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、政治、経済、社会の各方面で様々

な出来事がありました。国外においては、相次いでテロ事件が発生、北朝鮮を巡る問題については解決の糸口さえ見えず、我が国にとっても大きな脅威となっています。

そのような中、7月に行われた兵庫県知事選挙で井戸知事が再選され、新しい地域社会のモデルを兵庫から生み出すことを大きな目標に、5期目の井戸県政がスタートしました。

一方、県外では九州北部、岩手県、北海道など、台風や集中豪雨による被害が記憶に新しく、県下商工会のご協力を得て福岡県や大分県に義援金をお送りいたしました。

さて、国内の景気は、穏やかな回復傾向が続いていると伝えられましたが、多くの商工会地域では、人口減少と過疎化が進むとともに、商工業者数の減少をはじめ経営者の高齢化、後継者難など厳しい状況が続いています。このままでは事業者の大幅な減少が避けられないことから事業承継や創業支援などの対

策が喫緊の課題となっております。当連合会では、こうしたことを踏まえ、地域経済を支えている中小・小規模事業者への支援のため、経営課題に寄り添った「伴走型」による経営支援体制の強化に取り組んでいるところです。そのため、商工会との一層の連携を図り、経営発達支援事業の推進に努めてまいりたいと考えております。

また、ご承知のとおり県商工会青年部・女性部連合会が創立50周年の節目を迎えることから、記念大会を2月14日に開催いたします。さらには、全国の商工会女性

部リーダー約2500名が参加する「商工会女性部全国大会」を神戸ポートピアホテルにおいて11月6日に開催いたします。本年は兵庫県政150周年の大きな節目を迎えたことから、多様な兵庫の魅力を伝える一大イベントとして大会準備を進めているところであり、県下商工会並びに女性部の皆様の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

最後にになりましたが、会員事業所の益々のご繁栄と、皆様のご健勝を祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

と、持続可能な県政運営の柱組みを示します。

第二に、少子高齢化への対応。安心して子どもを生み育てられる社会づくり、誰もが生きがいを持って長寿を全うできる社会づくりを進めます。

第三に、次代を担う人づくり。人工知能に置き換えられない創造力や感性を伸ばす教育に力を入れます。大人の学び直しや柔軟な働き方ができる環境を整えます。

第四に、元気な地域づくり。次世代産業の育成、農林水産業の基幹産業化、国内外との交流

や芸術文化・スポーツによる賑わいの創出に取り組みます。

第五に、社会基盤の充実。活発な社会経済活動の基礎になる高速道路などの整備を進め、近い将来起こるとされる巨大災害への備えにも万全を期します。ふるさとを愛する県民の皆様と共に兵庫県政150周年を機に新しい地域づくりのスタートを切る。さあ、力を合わせて未来への扉を開きましょう。

兵庫県 150年迎え
新しいふるさとづくり
持続目指さん

平成30年新春メッセージ 未来への扉を開く

兵庫県知事 井戸敏三



新年あけましておめでとうございます。

兵庫県政150周年、2018年の幕が開きました。1868年、後に近代日本の発展を牽引する神戸港の開港に続いて兵庫

県が発足し、150年となります。

今年、本県の行財政構造改革の目標年でもあります。阪神・淡路大震災や経済不況で危機に陥った財政の立て直しに着手して10年。最後の仕上げの時が来ました。

この大きな節目を新しい兵庫づくりへの転換点にしなければなりません。

これまでの150年は成長の時代でした。これからは成熟の

第一に、未来への道筋を描く。

兵庫の進むべき方向を県民と共に有するため、10年後のめざす姿

と、持続可能な県政運営の柱組みを示します。

第二に、少子高齢化への対応。安心して子どもを生み育てられる社会づくり、誰もが生きがいを持って長寿を全うできる社会づくりを進めます。

第三に、次代を担う人づくり。人工知能に置き換えられない創造力や感性を伸ばす教育に力を入れます。大人の学び直しや柔軟な働き方ができる環境を整えます。

第四に、元気な地域づくり。次世代産業の育成、農林水産業の基幹産業化、国内外との交流

小規模事業者の持続的な成長・発展を目指して

全国商工会連合会 会長 石澤義文



新年明けましておめでとうございませう。平成30年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年の我が国経済は、緩やかな回復基調が続き、企業収益も堅調に改善いたしました。

しかし、戦後2番目の長さを記録したこの景気回復の波も、その恩恵は大企業や都市部の中堅・中小企業にとどまり、地方の中小企業・小規模事業者は、過疎化や人口減少による地域内の消費の縮小、働き手や後継者の不足など、引き続き厳しい経営環境におかれております。

こうしたことから、昨年11月に開催した第57回商工会全国大会では、全国各地から3000

名の商工会関係の皆様にご参集いただき、地方の中小企業・小規模事業者の持続的な成長・発展、さらには、生産性向上による働き方改革の実現等を目指し、従前の規模に捉われない中小企業対策費の大幅な拡充や、事業承継施策の抜本的な強化など、5項目について満場一致で決議いただきました。

今年、決議項目の実現はもとより、昨年度に引き続き、全会員事業者に対する「経営計画の策定・実行支援」を最重要の組織目標として掲げ、一人でも多くの会員事業者が自社の経営

計画を策定し、持続的な経営が行えるよう、組織一丸となって支援事業に取り組んで参ります。

加えて、今年、事業承継支援にも積極的かつ果敢に関与していくことが商工会に求められており、そのため、商工会は自らの経営発達支援計画を着実に実行するとともに、スーパーバイザー制度の活用や高度な資格取得の推進により、不断に支援能力を高めて参ります。

こうした活動を通じて、地方の中小企業・小規模事業者の持続的な成長を促し、もって、地方経済の振興と地方の創生を

現することを目指し、役員ともども心を一つにして邁進する所存であります。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

平成30年 元旦



新年ごあいさつ

兵庫県産業労働部長 片山安孝



謹んで新年のお慶びを申し上げます。私も、産業労働部長として2回目のお正月を迎えました。

平素は、本県の産業労働行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。本県は今年1

50周年の節目を迎えます。この大きな節目を新たな兵庫づくりへの出発点とし、人口が減少し少子高齢化が進むなか、活力を保ちつづけることができるよう「地域創生」に取り組んでいきます。今、新年度の施策について検討を行っていますので、産業労働施策の展開方向について説明いたします。

一つ目は人手不足対策です。井戸知事の「兵庫で生まれ育つ

た若者はふるさと兵庫で働いて欲しい」との思いのもと展開している「ひょうごで働こう！プロジェクト」をさらに進めていきます。重要なのは、地域でがんばってもらっている企業のPRに引き続き取り組みます。社会的に問題となつていく奨学金の返済については、「兵庫型モデル」として、県・政令市・中核市と企業が一体となつて、若手従業員の奨学金返済支援を行います。

二つ目は、次世代産業の育成と起業支援です。従来から、航空機、ロボット、水素、医療などの、最先端の4分野への支援

を行ってきましたが、これに加えて、近年大きな課題となつていくAI・IoTへの対応への支援に取り組みます。まさしく4プラス1です。また、若者、女性、シニアなどへの起業支援を行い、「起業するなら兵庫県」と言われるように取り組みます。

三つ目は、地域に密着した産業の支援です。地場産業や商店街は、地域になくてはならないものです。そのため、地場産ブランドのPRなどの支援を行います。私は県議会で「私自身も、播州織のシャツを着て、スーツの襟に真珠を付けて、たつのレ

ザーの財布と豊岡カバンを持って、長田のビジネスシューズを履いて出勤しているところだ」と答弁しましたように、地域ブランドを愛してやみません。本年も、皆様のご理解とご支援のもと、「地域創生」の実現と兵庫経済のさらなる飛躍を目指してまいります。

今年、戌年です。我が家では以前犬を飼っていましたが、ワンちゃんはとにかく元気だったことを覚えております。戌年にちなんで、兵庫経済が元気になることを願いまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

県内28商工会・7地区商工会連絡協議会からの 平成30年度県予算要望 県知事へ提出

11月10日、兵庫県庁・知事応接室において「兵庫県政及び平成30年度商工会予算に対する要望書」を志智兵庫県連会長はじめ副会長6人から井戸知事へ手渡された。

「中小・小規模事業者の支援体制等の強化について」、「中小企業の振興に関する条例」に基づく小規模企業の支援策の推進について」という2本の柱に分け、前者は職員設置に関する維持要望、後者は平成27年10月に制定された小規模企業振興条例に関連した要望とし、事業承継支援、創業

支援を中心に要点説明を行った。井戸知事からは「創業支援は一緒に力を

いれて、ぜひやっていきたい。事業者が増えると、地域が元気になるので一生懸命やっていきたい」とコメントがあった。



▲左から奥藤副会長、大地副会長、緒方副会長、志智会長、井戸県知事、小田副会長、森田副会長、谷口副会長

職員研修 経営分析力向上研修

県連合会は、10月19日に兵庫県中央労働センター、11月21日に中小企業大学校関西校にて「経営分析力向上研修」を開催した。本研修会は、企業の経営状態の把握、健康診断ツール「ローカルベンチマーク」について学び、両日で計61名が参加した。午前

の部では、近畿経済産業局 産業課長 原田敏之氏を講師に迎え、ローカルベンチマークの現状に



▲熱心に聴く受講生たち

ついて学んだ。午後の部では、(有)ツトム経営研究所 所長 森下 勉氏にローカルベンチマークの活用時のポイントを学び、支援側と経営者側にわかれ実践を行った。参加者からは、「事業所支援に役立つ内容があった」、「コミュニケーションツールとして利用していきたい」などの感想があった。

第57回 商工会全国大会

11月16日、東京都・NHKホールで第57回商工会全国大会が開催され、本県から80名が参加した。開会宣言、国歌斉唱、大会会長の石澤全国連会長のあいさつの後、安倍晋三内閣総理大臣及び関係団体代表が祝辞を述べた。意見表明・大会決議では、参加者の賛同を得て採択した。また多くの国会議員等が出席され、大会に花を添えた。



▲主催者挨拶をする石澤全国連会長

● 中小企業庁長官表彰

1. 優良青年部

朝来市商工会青年部

2. 優良女性部

加東市商工会女性部

3. 女性部功労者

濱田 房子 (養父市)

● 全国商工会連合会会長表彰

1. 役員功労者

杉本 安章 (多可町)

笹倉 政芳 (多可町)

宇高 昌利 (多可町)

廣田 政文 (稲美町)

安居 幸一 (稲美町)
品川 清 (市川町)
岡村 珠美 (太子町)
吉井 康人 (淡路市)

3. 優良女性部
佐用町商工会青年部

4. 青年部功労者
吉川町商工会女性部
香美町商工会女性部
小泉 星児 (芦屋市)

5. 女性部功労者
横山 純子 (加東市)
井澤とも子 (稲美町)
今仲恵美子 (猪名川町)

6. 優良常勤役員
足立 嘉正 (多可町)
金高 和彦 (多可町)
本庄 尚哉 (多可町)
四方 啓介 (丹波市)
廣瀬 生美 (丹波市)

● 事業推進優良商工会等表彰

1. 商工会法施行55周年
特別枠部門
三田市商工会 (経営発達支援計画の認定に伴う経営発達支援事業の実施)

2. 共済部門
宍粟市商工会 (会員福祉共済の推進)
篠山市商工会 (会員福祉共済の推進)

敬称略

兵庫県・県内41市町

事業者のみならず 兵庫県と県内市町は平成30年度から 個人住民税の天引き(特別徴収)を完全実施します!

※大阪府、京都府、和歌山県も平成30年度から完全実施に取り組みます。

氏名: 兵庫 太郎	
給与明細 (平成30年6月分)	
給与支給額	200,000円
所得税	3,700円
社会保険料計	28,400円
住民税	7,700円
差引総支給額	160,200円

既に実施いただいている皆様
…特別徴収への協力ありがとうございます。

天引き(特別徴収)を実施されていない事業者の方
…特別徴収の実施に向けてご準備をお願いします。

詳しくは...

兵庫県 特別徴収

1月のこよみ

- 11日(木) 第3回経営サポート力向上研修会
- 13日(土) 商工青年同友会賀詞交歓会
- 14日(日) 職員採用1次試験
- 16日(火) 経営革新・IT活用研修会
- 22日(月) 県女性連正副会長会・理事会

2月のこよみ

- 2日(金) 第4回回済事業委員会
- 3日(土) 職員採用2次試験

- 5日(月) 平成30年度地域活力増進事業採択審査委員会
- 6日(火) 平成30年度ひょうご「まちおこし」支援事業審査委員会
- 9日(金) 第2回商工会管理者研修会
- 14日(水) 青年部・女性部創立50周年記念大会
- 19日(月) 平成30年度労働環境対策事業採択委員会
- 21日(水) アグリフードExpo大阪2018
- 22日(木) 第15回シーフードショー大阪
- 27日(火) 事務局長任用試験

次期県連システム導入業者の選定

第4回事業委員会

県連合会は、11月29日、県商工会館において「第4回事業委員会」を開催した。

審議事項は、「次期県連システムの導入業者について」。10月中旬に提案依頼書により、県連合会のホームページ等で業者からの提案書を公募し、11月初旬に提出された提案書に対してヒアリングを行った。本委員会において、その審査内容を報告し、導入業者の選定について審議した。

委員からは、システム移行による会員サービス及び商工会業務への影響、導入後の職員への説明等について活発な意見が出た。また、システムのサーバ設置場所がデータセンターとなることや新たなシステムを導入するため、稼働時期や安定した運用ができるよう環境整備が必要との意見が出た。

今後は、システムの接続先URLが変更になること、またCA派遣申請等の電子化など追加機能があるので、職員への研修等を通じて周知していく旨を説明した。

報告事項は次のとおり。

①ひょうご「まちおこし」支援事業の変更について

②全国連の今後の予算要望等について

ひょうご「まちおこし」支援事業の辞退に伴い、県連合会直轄事業として、アグリフードEXPO大阪2018の展示会に県連合会ブースを増やして出展することを報告した。

また、全国連の今後の予算要望の報告では、商工会を取り巻く重要課題の想定スケジュール、小規模事業者支援の方向性及び平成30年度税制改正等について説明した。

その他、元町商店街と兵庫県「五国」との連携により、地域の特産品をPRするとともに、商店街の活性化に向けた事業を展開すべきとの意見が出された。



▲奥藤委員長挨拶

第19回商工会青年部全国大会・沖縄大会 部員増加実績 県連部門で兵庫県が第2位、 商工会部門で三田市が第1位を獲得！

11月21日、22日に沖縄県立武道館において、「第19回商工会青年部全国大会」が開催され、全国の青年部員約3000人が参加、本県からは青年部員約160人が出席した。

記念式典では、各種表彰が行われ、部員増強運動・部員数増加実績の都道府県部門において兵庫県が第2位を獲得。部員数増加実績の商工会部門において三田市が第1位、若手部員加入実績においても同じく三田市が第2位を獲得した。

続いて主張発表大会が行われ、全国の各ブロックから勝ち進んだ6人の部員が、青年部事業を通して得た経験や学びを力強く発表した。九州ブロック代表古郡豪人君が最優秀賞に輝いた。MONGOL800の上江洌清

作氏を招いた講演会では、体験談や音楽活動に対する想いなどが語られ、会場は大変盛り上がった。また商人ネットワーク商談会には、兵庫県からティエダデザイン（加東市）の村上琢也君が出展した。2日目に行われた6

分間のプレゼンテーションでは自社の事業内容やPRポイントを全国の部員の前で発表した。村上氏によると今回の出展により商談もまとまったよう非常に満足されていた。

沖縄県での開催ということもあり、全青連の役員並びに各青年部の部長らを中心にオリジナルの「Impulseかりゆし」を着用して参加するなど、普段の全国大会とは少し違った雰囲気となった。



▲部員数増加実績においてから全青連・越智会長(右)から表彰を受ける兵庫県青連・中西会長(左)



▲全国の青年部員の前でプレゼンテーションを行う村上氏（加東市・ティエダデザイン）

府県の枠を超えた部員相互の交流 近畿ブロック商工会青年部交流会及びリーダー研修会

10月24～25日、近畿ブロック商工会青年部交流会及びリーダー研修会が奈良県で開催され各府県青年部員約65人が参加した。

1日目は、全青連委員会報告として、全青連で取り組んでいる事業の説明や委員会報告などがあった。

2日目は、『頑張つて伝える』というより『なぜか伝わる』お客様目線のネット活用術をテーマに、ホームページコンテンツの永友

一郎氏を招き、研修会を行った。SHIFTの特長やSNSの活用事例などを重点的に学んだ。台風21号の影響もあり当初スケジュールを変更しての開催となったが、参加者から積極的に他府県の部員との交流をはかり有意義な事業になったとの意見が多くあった。



▲講師の永友氏に質問する参加者



全国連の主権により、11月17日～19日の3日間、東京・池袋サンシャインシティにおいて、『ニッポン全国物産展』が

開催された。会期中の来場者は前年度比8%増の延べ16万人が来場。全国361の事業所から出展された特産品を買い求める人々で賑わった。

兵庫県からは、6事業所等が出展した。特設コーナーでは昨年度に引続き「ニッポン全国ご当地おやつランキング」、「おらが自慢のご当地フードコート」が開催され、兵庫県からは(株)谷常製菓(完熟いちご菓子研究所)、「神戸南京町 大同行」がそれぞれ出展し、大変好評であった。兵庫県ブースでは、「(株)やなわ」から丹波特産の黒大豆を出品。たつの市商工会からは地域活力増進事業の支援で開発し、大ヒット商品となった「牡蠣しようゆ」をはじめ、「牡蠣しようゆ ぼん酢」や「牡蠣オリブオイル漬け」等を出品した。また、今年度初出店の新温泉町商工会からは、産学連携事業において

兵庫県立大学、地元浜坂高等学校と連携し商品開発した「浜坂ちくわ」や、湯村炊飯センターの新商品である「ライスコロツケ」を出品。各ブースで県内の特産品を振る舞い、兵庫県の魅力を発信した。

また、県連合会では、昨年度に引続き、兵庫県内各地の銘酒・試食用のおつまみ等を提供する呑み比べコーナー「酒処ひょうご」を設置。今年度はお酒の種類を豊富にし、県内14の酒蔵から31種の希少種を厳選。またおつまみも日本酒に合う淡路島産の5品をセレクト。3日間とも大盛況で、出品した商品は全て完売し、昨年度を上回る売上げ実績となった。



▲賑わう兵庫県ブース

東京ではあまり流通していない兵庫県の銘酒を、東京近郊に住む来場者に広くPRすることができた。来年度以降も継続的に実施し、兵庫県の上質なお酒をPRし続けることで、東北に負けないようなお酒のイメージを定着させていきたい。

兵庫県地域支援金融会議 及びひょうご信用創生 アワードの開催

11月21日に神戸市・ラッセホールにおいて、兵庫県信用保証協会主催の兵庫県地域支援金融会議及びひょうご信用創生アワードが開催された。

地方銀行や信用金庫、経営支援機関など、36機関で構成された地域支援金融会議では、兵庫県信用保証協会、兵庫県中小企業再生支援協議会から、中小企業・小規模事業者の再生や経営改善支援について報告が行われた。

地域金融機関等が中小企業・小規模事業者の経営強化に貢献した好事例をたたえる「ひょうご信用創生アワード」では、創業、成長、改善の3部門で9組の事業者から事例発表が行われた。事業承継や伝統産業の再生などの社会問題に対応し、地域金融機関が支えた事例が高い評価を得た。

最優秀賞は、創業部門 ソーシャルアドバンス株式会社(神戸市)・姫路信用金庫、成長部門 有限会社玉木新雌(西脇市)・中兵庫信用金庫、改善部門 久徳技研工業株式会社(川西市)・尼崎信用金庫の3組が選ばれた。

商工貯蓄共済 推進のために 生命保険募集人登録研修会

県連合会は、12月4日にジブラルタ生命保険(株)姫路支社において、生命保険募集人登録研修会を開催した。

同研修会は、12月21日、1月25日に実施される生命保険一般課程試験を受験するために受講が必須となっている。

講師はジブラルタ生命保険(株)ダイレクターの井上洋氏が務め、生命保険の基礎知識ならびに税法上の取り扱い等について説明があった。

当日は職員31人が出席し、試験対策を中心とした研修を行った。なお、同試験合格後には生命保険募集人登録を行い、商工貯蓄共済の加入勧奨が可能となる。



▲生命保険について説明をする井上氏

—ひょうごの中小企業を補償でサポート!—
商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする



ひょうご共済
兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28
兵庫県中央労働センター4階
☎078-361-8080 www.ken-kyosai.or.jp

平日お忙しい方のため、土曜日や平日夜間に相談をお受けしています。開催場所・日程などはホームページ、または下記にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】経営支援室 ☎078-393-3920

兵庫県信用保証協会
www.hosyokyokai-hyogo.or.jp

信用保証協会は、中小企業・小規模事業者の金融円滑化のために設立された公的機関です。

第12回多可町ふるさと産業展で「100体の播州織シャツ展」を開催!

11月5日に多可町中央公園グランド周辺で開催された同町産業展において、多可町商工会繊維部会による「100体の播州織シャツ展」を開催した。

この取り組みは、西日本最大手となる服飾デザイン専門学校である「上田安子服飾専門学校（大阪市）」と連携して3年前から実施している。

3月下旬に生徒や教員が多可町の織物工場を訪れ、製作に必要な生地を選び、同校が大阪南港のギャラリーで6月に開催する「プレタポルテ展」で披露をした後、11月の産業展でも再展示する流れになっている。



▲感性豊かな学生作品の数々を真剣に見る来場者

100体の播州織シャツの揃い踏みは壮観だと、毎年沢山の来場者が楽しんでいて、毎年沢山の投票を呼びかけ、上位5作品を選考する参加型のイベントを実施している。

加えて、同校が9月に出品した『パニコレクション公式展示会「トラノイ」への出展作品』も展示した。アメリカ・イタリヤ・エジプト・香港などの百貨店と商談が決まったハイレベルな播州織のドレスなどの作品展示も行い、「素敵な作品が楽しめた」「播州織をもっと国内外に広めてほしい」と感想や応援をいただいた。



▶パニコレの中でも最上級展示会であるトラノイ展示会への出品作品の一部

長時間労働削減をはじめとする「働き方改革」に向けた取組について

働く方の健康の確保を図り、労働の質を高め、生産性を向上しつつ、ワークライフ・バランスを改善し、女性や高齢者をはじめとするすべての人々が働きやすい社会に変えていくためには、長時間労働の是正などの取組が重要です。具体的には、トップによるメッセージの発信、朝方勤務やフレックスタイム制、年次有給休暇の計画的付与制度などの導入、ノー残業デーや年次有給休暇取得による連休の実現（「プラスワン休暇」）のほか、ボランティア休暇をはじめとする働く方々の実情に応じた特別な休暇制度の導入等が挙げられます。

長時間労働解消に向けた取組内容を点検しましょう!

36協定は限度基準などに適合したもとなっていますか?

- 36協定（時間外労働・休日労働に関する協定）で定める延長時間は、限度基準^{※1}に適合したものとする必要があります。
- 特別乗付付き協定^{※2}により月45時間を超える時間外労働が可能の場合^{※3}にも、健康障害防止の観点から、実際の時間外労働は月45時間以下とするよう努めましょう。
- 休日労働についても削減に努めましょう。
- 【労働基準法第36条第1項の協定で定める労働時間の延長の限度等に関する基準】（平成10年労働省告示第154号）
- ※2 臨時的に限度時間を超過する時間外労働を行わなければならない特別の事情が予想される場合に、特別乗付付き協定を結ば、1年の半分を超えない範囲で、限度時間を超過する時間を延長時間とすることができます。
- ※3 大企業において、使用者は月60時間を超える法定時間外労働に対して、50%以上の率で計算した超過賃金を支払わなければならない。



労働時間を適正に把握していますか?

- 労働時間を適正に把握するため、労働者の労働日ごとの始業・終業時刻を確認し、記録する必要があります。^{※4}
- ※4 「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」（平成29年1月20日付け基発0120第3号）

年次有給休暇の取得を促進していますか?

- 労働者ごとに、年次有給休暇の取得状況を把握しましょう。
- 年次有給休暇を取得しやすい職場環境づくり、計画的付与制度^{※5}の活用などにより、年次有給休暇の取得促進を図りましょう。
- ※5 年次有給休暇の付与日数のうち、5日を超えた日数については、労使合意を結ば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。



産業医や衛生管理者などを選任していますか?

- 労働者の健康管理のため、産業医や衛生管理者、衛生推進者^{※6}を選任し、その人に事業場での健康管理に関する職務を適切に行わせましょう。
- ※6 常時50人以上の労働者を雇用する事業場では、産業医や衛生管理者を、常時10人以上50人未満の事業場では、衛生推進者（または安全衛生推進者）を選任する必要があります。
- 産業医を選任する義務のない事業場（常時50人未満の労働者を使用する事業場）では、産業保健総合支援センター・地域窓口（地域産業保健センター）を活用しましょう。

衛生委員会などを設置していますか?

- 衛生委員会^{※7}などを設置し、「長時間にわたる労働による労働者の健康障害の防止を図るための対策の検討に関すること」をはじめ、健康管理について適切に調査審議を行います。
- ※7 常時50人以上の労働者を雇用する事業場では、労働衛生に関する事項を検討する「衛生委員会」を設置する必要があります。また、常時50人未満の労働者を雇用する事業場では、安全衛生推進者に関する事項について「関係労働者の意見を聴く機会」を設けなければならない。

健康診断や健康診断結果に基づく適切な事後措置などを実施していますか?

- 常時使用する労働者に対し、1年以内に1回、定期的に健康診断を実施する必要があります。
- 深夜業を含む業務に常時従事する労働者に対しては、6か月以内に1回の特定業務従事者健康診断を実施する必要があります。
- 血圧など一定の健康診断項目に異常の所見がある労働者には、労災保険制度による二次健康診断、特定保健指導に関する給付（二次健康診断等給付）制度を活用しましょう。
- 健康診断で異常の所見があった人については、健康保持のために必要な措置について、医師の意見を聴き、必要な事後措置を講じる必要があります。

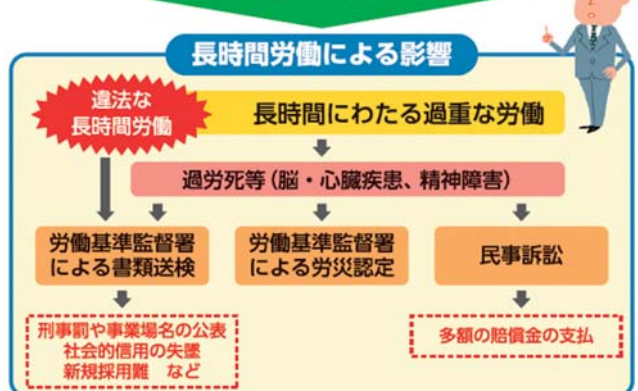
長時間にわたる時間外・休日労働を行った労働者に対し、医師による面接指導などを実施していますか?

- 時間外・休日労働時間が月100時間を超える労働者に対しては、医師による面接指導を実施する必要があります。
- 時間外・休日労働時間が月100時間を超える労働者がいる場合は、その氏名と労働時間に関する情報を産業医に速やかに提供する必要があります。

ストレスチェックを実施していますか?

- 常時50人以上の労働者を使用する事業場では、常時使用する労働者に対し、1年以内に1回、定期的にストレスチェックを実施する必要があります。
- ストレスチェックの結果、「医師による面接指導が必要」とされた労働者から申出があった場合は、医師に依頼して面接指導を実施し、その医師の意見を聴き、必要な措置を講じる必要があります。
- ストレスチェックの実施者に、ストレスチェック結果を一定規模の集団ごとに集計・分析してもらい、その結果を踏まえて、適切な措置を講じましょう。

これらの取組を行わないと・・・



クラウドファンディングを活用した商品開発
ダイナマイト羊羹で地域おこし

「地域で愛された銘菓『ダイナマイト羊羹』を復活させて宍粟市の名物にしたい」

宍粟市で明治27年に銃砲火薬類の販売店として創業したD-I-J K株式会社。現在は代表取締役の段克史氏のもと県内各地で開催される打ち上げ花火の打ち上げ演出やライトアップイルミネーションも手掛けている。同社の販売品目の中にはトンネル工事や砕石場で使用されるダイナマイトがあり、そのダイナマイト型羊羹の製造・販売を行うため、クラウドファンディングを活用し、開発に向け支援者を募っている。

もともとは山口県山陽小野田市にある株式会社民生堂という和菓子屋で製造・販売されていた「ダイナマイト羊羹」は、今から10年ほど前に廃業とともに販売中止となった。地元では「素朴で美味しかった」「もう一度食べてみたい」という声が今なおあり、根強いファンがいる。当時の製法については既に失われているものの、

「ダイナマイト羊羹」の名前がもう一度使われることを望まれる民生堂の奥様の想いを受け継ぎ、それに共感した西播磨の和菓子製造会社、印刷会社、木箱製造会社、ギフト小売会社の協力を得てスタートしたプロジェクト。

開発にあたって、以前青年部の研修でテーマとなったクラウドファンディングを活用することとした。クラウドファンディングの市場は年々拡大傾向にあるものの、なかなか小規模事業者には馴染みがなく、商工会地域ではあまり活用されていないことを受け、自分がチャレンジし経験を伝えることで、少しでもチャレンジのハードルを下げていきたいという想いもあったという。

開発にあたって、以前青年部の研修でテーマとなったクラウドファンディングを活用することとした。クラウドファンディングの市場は年々拡大傾向にあるものの、なかなか小規模事業者には馴染みがなく、商工会地域ではあまり活用されていないことを受け、自分がチャレンジし経験を伝えることで、少しでもチャレンジのハードルを下げていきたいという想いもあったという。

◆プロジェクトの詳細は
FAAVO兵庫のサイトから
<https://faavo.jp/hyogo/project/2362>

地域で愛された銘菓「ダイナマイト羊羹」復活させて宍粟市の名物にしたい!

兵庫 観光・まちおこし



集まっている金額
193,000円
(目標 500,000円)

達成率 38% 支援者数 19人 残り 42日

支援コースを見る

▲クラウドファンディングで復活を目指す「ダイナマイト羊羹」

クラウドファンディングとは

インターネットを経由して個人や企業がアイデアやプロジェクトを紹介し、それに共感・賛同する不特定多数の人から資金を集めることができる仕組み。開発資金を集めるだけでなく、市場調査も兼ねられることも魅力の一つとされている。群衆を意味するcrowdと資金調達の意味するfundを組み合わせた造語。日本では2001年に初めてサービスが提供、2011年から本格的に展開された。2016年度の国内市場規模は約745億円ともいわれている。兵庫県でも「キラリひょうこプロジェクト」として平成2014年度から取組み中。

商工会ネットワークを活用した輸出事業

兵庫商工青年同友会

兵庫商工青年同友会（安積進会長）は1月13日(土)にホテル北野プラザ六甲荘（神戸市）で研修会・賀詞交歓会を開催します。今年度は全国商工会壮青年部連合会が推進する「商工会ネットワーク」を活用した輸出の共同化、小さな企業の大きなネットワークをテーマに研修し、同会員以外も参加が可能です。希望者は県連合会・組織運営課までメールにてお申込みください。（定員・先着50名）

◆メールアドレス
hyogo-sosikiuneika@shokoren.or.jp

平成29年度
兵庫県商工青年同友会
研修会・賀詞交歓会

商工会ネットワークを
活用した輸出の共同化
～小さな企業の大きなネットワーク～

平成29年度、茨城県鉾田市商工会では地方公共団体連帯型広域展示販売・商談会事業を実施し、小規模事業者の海外展開を支援しております。本事業は小規模事業者の取り扱い商品について1品からでも輸出可能とするもので、販路拡大が期待できる3か国（ベトナム・UAE・アメリカ）において独自展示・商談会を行うものです。研修会では、事業説明だけでなく初年度の事業成果報告を通して、次年度以降の事業展望や今後の海外展開の可能性を学んでいきます。

ホーチミン/ハノイ ドバイ ロサンゼルス

【日時】平成30年1月13日(土)
15:00-16:45

【会場】ホテル北野プラザ六甲荘 2F
〒650-0002 神戸市中央区北野町1-14
TEL:078-241-2451
URL: <http://www.zokkono.com/>

【定員】先着50名

【対象】兵庫県商工青年同友会会員
及び会員から紹介を受けた者

【締切】平成30年1月9日(火)

【お問い合わせ・お申し込み】
兵庫県商工会連合会 組織運営課(担当:笠原)
TEL:078-371-1363 MAIL: hoyo@sosikiuneika@shokoren.or.jp
※お問い合わせ・お申し込みはメールにてお願いします。
※件名は必ず「兵庫県商工青年同友会 賀詞交歓会について」としてください。

あなたの未来を強くする

住友生命

生活保険で、じぶんを救え。

LUP+

未来デザイン ワンアップ

住友生命保険相互会社 神戸支社
〒650-0031 神戸市中央区東町126番地 神戸シルクセンタービル7F
TEL: 078-391-3229

中小企業の皆様を融資でバックアップ!

兵庫県神戸市中央区花隈町6番19号

兵庫県商工連協同組合

理事長 志智宣夫